

見どころいっぱい 泉南市



36 おのしん しょうがっこう しょうせきしつ
雄信小学校 小石室

せきしつ
石室とは石を積み上げてつくるお墓のことで
す。双子池付近の発掘調査で発見されまし
たが、現在は小学校の敷地内に移されてい
ます。出土遺物等から7世紀前半のものとい
われています。

37 おの じんじや
男神社

はいてん
男神社の拝殿は国登録文化財に登録
されています。本殿等は府指定有形文
化財に指定されており、さらに、社叢は
大阪みどりの百選に選ばれています。ま
た、毎年5月頃にはヒメボタルを見るこ
とができます。ホタルの生息場所として
水辺がよくあげられますが、ヒメボタル
は水辺でなくても森や林など湿気が多
いところで生息します。

1 やまだけ じゅうたく
山田家住宅

だいしょうややしき
山田家は、泉南地域の大家屋敷とし
て江戸時代の姿をほぼそのままに留め
た、極めて重要な建造物です。
2002(平成14)年、市内では初の国登
録有形文化財となりました。主屋の他7
件が登録されています。

2 うさいだ うしがみ
兔田 牛神 /
たねがわ じんじや ようはいじよ
種河神社 遥拝所

遥拝所とは、種河神社の
神様を祀り、この場所をお
参りすることで種河神社
にお参りしたとする場所
のことです。

38 じょうこうじ
浄光寺

はなしょうぶ
花菖蒲が大切に育てられ、5月末
から見ごろを迎えます。

39 いちどう いちば おかだせん
市道市場岡田線

はくつちようさ
発掘調査が行われ、弥生時代前期の集落が見つかっています。現在
は、秋になると黄色く染まったイチョウ並木を楽しむことができます。

3 たねがわ じんじや
種河神社

春には桜が咲き誇り、桜の名所として有名で、7月には祇園祭
(ぎおんさん)が行われ、たくさんの露店が並び賑わいます。

4 きたわかい やくしどう
北向薬師堂

種河神社の隣に位置し、
平安時代中期から後期に
つくられた薬師如来坐像が
所在しています。こちらは、
泉南市で最も古い仏像と
なります。

40 りげ じんじや
里外神社

ごさいじん すさのおのみこと
御祭神は素戔鳴尊(須佐之男命)
で、昔は呉服大明神と呼ばれていま
した。現在は、他の神社から御祭神
が移され、複数の神様が祀られてい
ます。「岡田のえびすさん」として古く
から親しまれています。

41 きたの うしがみ
北野牛神

42 おかだうら
岡田浦のハマヒルガオ

見ごろは5月中旬から下旬にかけてで、砂浜を
埋め尽くすように薄ピンク色の花が咲きます。

5 あぜ たに じぞうそん
畦の谷地蔵尊

谷の岩が常に湿っており、汗をかいて
いるように見えることから「汗の谷」と
なり、「畦の谷」と呼ばれるようになっ
たといわれています。

6 せいしょうねん もり
青少年の森

野外活動の拠点となる大屋根教室や自然を
散策できる森林学習歩道、バードウォッチング
ができる野鳥観察施設など、自然とふれあ
う場が充実しています。

- 文化財
- 大阪みどりの百選
- 花の名所
- 樹木の名所

目的別に上記のマークを
つけています!


泉南市の牛神信仰

泉南地域の各集落では、牛神が祀られて
います。農業が飼育する牛の無事息災を
祈願して祀る民間信仰の神様です。

【作成・問合せ】 泉南市立樽井公民館
☎072-483-4361
このマップは樽井公民館の職員が市内の様々
な文献をもとに名所を選び出し、実際に現場を
訪れ取材して作成したものです。
※ このマップの内容は令和4年3月現在のものです。


7 ぼんだんえもん ごりんとう
塙団右衛門の五輪塔

塙団右衛門は大坂夏の陣の榎井合戦で、豊臣方の大将となり、徳川方と戦いました。しかし、この地で討死しました。お墓が建てられてから、地元の方々に守られています。



8 たんのわ ろくろべえ はか
淡輪六郎兵衛の墓

淡輪六郎兵衛は大坂夏の陣の榎井合戦で塙団右衛門と共に豊臣方として、徳川方と戦いましたが、この地で討死しました。淡輪家は和泉淡輪の豪族で豊臣秀吉に仕えていました。



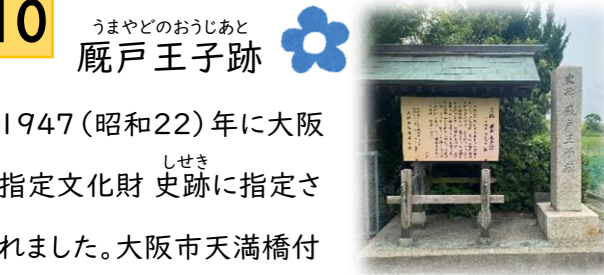
9 かしいこせんじょうあと
榎井古戦場跡

大坂夏の陣の初戦となった地です。この戦いは徳川方と豊臣方の戦いで、この地では豊臣方の有力な武将である塙団右衛門や淡輪六郎兵衛が討死し、徳川方の勝利に終わりました。



10 うまやどのおうじあと
鹿野王子跡

1947(昭和22)年に大阪指定文化財史跡に指定されました。大阪市天満橋付近をスタートし、熊野三山まで99カ所あったといわれる「熊野九十九王子」の1つで大阪市側から泉南市に入って最初の王子跡です。




11 いちおかじんじや
一岡神社

海宮宮 祇園さんとして古くから親しまれており、桜の名所としても有名です。現在、一岡神社の拝殿・本殿が建っている場所は、かつて海会寺の金堂が建っていたと考えられています。




12 せんなんしまいぞうぶんかざい
泉南市埋蔵文化財センター

市内の埋蔵文化財を保護するため1997(平成9)年に設置されました。1階では市内遺跡の発掘調査によって出土した遺物の整理・収蔵までの作業をしています。2階では海会寺跡から出土した文化財の展示をはじめ、様々なイベントが行われています。




13 あかいじんじやあと ぶっしょうじ
赤井神社跡/仏生寺

この地には、「仏生寺」という立派で大きな寺院があり、後にこの仏生寺の守護神として赤井神社が祀られました。現在、赤井神社の御祭神は市場稲荷神社に祀られていますが、この場所に赤井神社や仏生寺があったという記憶を後世に残すために、この碑が建てられました。




2 かいえじ
海会寺とは

海会寺は今から約1350年前に造られた古代寺院です。国史跡として指定されており、現在は「史跡海会寺跡広場」として活用されています。




30 やさか じんじや
八坂神社

集落から階段を上ると、神社があり、古い石造物をたくさん見ることが出来ます。その中でも南北朝時代の1373(応安7)年の板碑が一番古いものです。




31 たいゆうじ
大雄寺

境内の片隅の木陰に三基の石碑があります。そのうちの一基に「六十六部功 正平廿二年十日卅日」と刻まれており、南北朝時代の1367(正平22)年10月30日につくられたことがわかります。西日本では最も古く、全国では5番目に古いといわれています。




32 おのさとかわ かこう ひがた
男里川河口干潟

全国的に自然の干潟は、海岸の埋め立てなどの影響で近年あまり見られなくなりましたが、男里川の河口には現在も残っています。こちらではカニの一種であるハクセンシオマネキを見ることが出来ます。このカニの特徴は、雄の片方のはさみが白く大きいことで、このはさみを振る仕草が潮を招いているように見えることから、このように呼ばれるようになりました。




33 てんじん もり
天神の森

天神の森には、男神社の摂社である浜の宮神社や「神武天皇聖蹟雄水門顕彰碑」などがあり、古事記、日本書紀にある第一代天皇とされる神武天皇の東征伝説が伝わっています。また昭和9年の泉南市に室戸台風が襲来した際、松の巨木が強風によって倒され、砂の中から6世紀前半頃の大きな須恵器の甕が見つかったことから「天神ノ森遺跡」としても周知されています。



34 やまの い いせき
山之井遺跡

男里や樽井では、第一代天皇とされる神武天皇の兄である五瀬命の伝説にまつわる遺跡や由来となる地名が多く残されています。九州の日向国から五瀬命たちが大阪湾に攻め入ったところ、敵の矢で傷を負った五瀬命は痛みを耐える事ができず、雄叫びをあげたことで、この辺りを雄水門と呼ばれるようになったといわれています。この伝承を伝える地として碑が建てられました。




35 こうへいじ
光平寺

境内にある五輪塔は南北朝時代の1369(正平24)年に和泉砂岩でつくられたもので、1977(昭和52)年に府指定建造物に指定されました。五輪塔とは、仏塔の一つで仏教における万物を構成する要素をもつ5つの形の違う石で作られています。




22 すながわ きしやう こうえん
砂川奇勝公園

約200万年前の洪積世に海の底に堆積した砂や粘土が地殻変動により隆起し、表面が風化してまるで砂の川のように見えることから、「砂川」と呼ばれるようになりました。戦前は「砂川遊園」という遊園地があり、美しい景観として有名でしたが、現在は住宅地となっており一部が公園として残されています。



23 なめんじよいせき
滑瀬遺跡

丘陵上や斜面などに弥生時代中期末から後期初頭の竪穴住居が約20棟みついています。このような弥生時代に丘陵上につくられた村のことを「高地性集落」と呼びます。現在は、阪和道が遺跡の上を通過しています。




24 せんなんし のうぎやうこうえん
泉南市農業公園「花咲きファーム」
イングリッシュローズガーデン

ローズガーデンの見ごろは5月中旬から6月初旬で、約3000本のバラがコレクションされています。イギリス本国以外では初のデビッド・オースチン・ローズズのガーデンが、2012(平成24)年、泉南市にオープンしました。



25 しんだち じんじや
信達神社

金熊寺観音院に隣接している神社です。境内には、ナギ、オガタマノキがあり、共に府指定天然記念物に指定されています。ナギは府内最大といわれています。オガタマノキは、府内の神社で多く植樹されていますが、これほど大きくなるのは珍しく大切に保護、管理されています。




26 きんゆうじ かのんのいん
金熊寺 観音院

約300年の歴史がある梅林が有名なお寺です。見ごろは2月下旬から3月中旬です。「金熊寺の梅林と信達神社」として大阪みどりの百選に選ばれています。






27 きくまつ
お菊松

お菊松は和泉山脈の納経山にあった松の巨木のことで、大坂夏の陣の伝説から「お菊髪結の松」と呼ばれていました。現在は枯れてなくなりました。納経山はハイキングコースとして親しまれており、市民の有志の方々によって、ササユリを増やす活動が行われています。




28 ほりご
堀河ダム

大阪みどりの百選に選ばれており、春には桜の名所として有名です。

29 きせん
紀泉わいわい村

堀河ダムよりさらに山奥にあります。たくさんの古民家が移築されており、農家の生活体験をすることができます。



14 しんによじ
真如寺

紀州徳川藩の参勤交代の隠れ本陣とされており、境内にある樹齢300年のカイヅカイブキは、松平主税(徳川吉宗)が植樹したといわれています。



15 ちやうけいじ
長慶寺

安土桃山時代から江戸時代にかけての年号である「慶長」の時代に建てられたことから、長慶寺と呼ばれるようになったといわれています。また、アジサイが有名で「あじさい寺」として親しまれており、見ごろは6月ごろです。




16 しんだち いちば うしがみ
信達市場 牛神




17 しんだち いちば のだふじ
信達市場 野田藤

紀州街道信達宿にある梶本家の野田藤は4月の中旬から下旬にかけて見ごろを迎えます。保存会によって、イベントが開催されるなど毎年大勢の見物客が訪れます。



18 おうじやういん
往生院

紀州街道沿いにある、679(白鳳8)年に建てられたとされる寺院です。室町時代のものとされる二面石仏や阿弥陀如来などが安置されています。





19 しんだち おかなか うしがみ
信達岡中 牛神





20 りんしやうじ
林昌寺

著名な作庭家である重森三怜によってつくられたツツジの庭で有名なお寺です。ツツジの見ごろは、5月中旬から下旬となっています。ほかにも仏足石や補陀落渡海碑など貴重な文化遺産があります。また、裏山の愛宕山には四国八十八カ所の本尊も祀られており、1時間ほどで巡礼できます。毎年1月に修験者たちによってお札などを焚き上げる「護摩供」が行われ、この残り火の上を歩く「火渡り」を参拝者の方も体験できます。

21 おかなか ちんじゅしや
岡中鎮守社

大きな2本の樹木は府指定天然記念物に指定されています。近くに中世の寺院跡が見つかったことから、くすの樹齢は800年を超えるといわれています。マキの樹齢は600年といわれており、成長が遅いマキがこれほど大きく育つのは府内では珍しいものです。また、大阪みどりの百選にも選ばれています。



ぶつそくせき
仏足石とは
大きな石の台座の上に仏様の足跡を彫り込むことで、実際に石の上に仏様がいらっしゃることを表現したといわれています。

ふだらくとかい
補陀落渡海とは
扉をくぎでふさいだ小さな船に、30日分の食糧と油を積み、念仏を唱えながら海に旅立つ修行の一つで、平安時代から江戸時代まで行われていました。

